

全身性障害者移動介護従業者養成研修課程

教科名目的内容		
I 講義 12時間		
1 障がい者福祉に係る制度及びサービスに関する講義（3時間）		
1. 障害者自立支援制度とサービス（2時間）	障害者自立支援制度のサービスの種類、内容、役割を理解する	・障がい者（児）福祉の背景と動向・障害者自立支援制度とサービスの種類、内容とその役割
2. 移動介護の制度と業務（1時間）	移動介護の制度と業務を理解する	・移動介護の制度・移動介護従業者の業務
2 身体障がい者居宅介護等に関する講義（3時間）		
3. 居宅介護概論（2時間）	居宅介護の役割と業務を理解する	・居宅介護の社会的役割・居宅介護の制度と現状・居宅介護業務の基本・関連機関との連携
4. 居宅介護従業者の職業倫理（1時間）	居宅介護に従事する際の職業倫理について理解する	・福祉業務従事者としての倫理・居宅介護においてとるべき基本的態度
3 全身性障がい者の疾病、障害等に関する講義（2時間）		
5. 重度肢体不自由者（児）における障害の理解（1時間）	業務において直面する頻度の高い障害、疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、介助に必要な状態像を把握する	・肢体不自由の原因疾患（脳性まひ、脳血管障害、頸髄損傷など）及び症状の理解・肢体不自由者（児）の社会参加・移動介助の際の留意点
6. 介助に係わる車いす及び装具等の理解（1時間）	移動介助に必要な車いすや装具等について知識を深め、それらの機能を把握する	・車いすの構造と機能・電動車いすの構造と機能・重度肢体不自由者用の車いすの構造と機能・装具や自助具等の機能
4 基礎的な移動の介護に係る技術に関する講義（3時間）		
7. 姿勢保持について（1時間）	良好な姿勢保持の必要性を理解するとともに、その方法を修得する	・良好な姿勢の必要性・良好な姿勢保持の方法・姿勢保持の留意点
8. コミュニケーションについて（1時間）	言語障害についての理解を深め、言語障害のある人への接し方を習得する	・言語障害の種類と特徴・言語障害のある人への接し方
9. 事故防止に関する心がけと対策（1時間）	事故防止のための方法や事故が起きた時の対応方法を習得する	・事故防止のための移動の留意点・事故時の対応・安全な食事介助・介助者自身のからだの保護
5 障がい者の心理に関する講義（1時間）		
10. 障がい者（児）の心理（1時間）	障がい者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する	・障がい者の心理と人間関係・肢体不自由者の心理的特徴
II 演習 4時間		
1 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習（4時間）		
1. 抱きかかえ方及び移乗の方法（1時間）	車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法を習得する	・床と車いす間の移乗・ベッドと車いす間の移乗・2人の介助者で行う場合
2. 車いすの移動介助（2時間）	車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する	・車いすの取扱い方・車いす移動介助における注意（雨の日）・平地での移動・階段における移動・エレベーター、エスカレーターの利用・乗り物を利用する場合の注意・歩行移動介助方法の留意点
3. 生活行為の介助（1時間）	外出時に排泄、食事、衣服の着脱を行う際に安全な介助方法を習得する	・食事の介助方法・衣服着脱の介助方法・排泄の介助方法